

開催日時：2004/04/04(SUN) 13:00~15:15

開催場所：岐阜県民ふれあい会館 404会議室

出席者：鳥居昭夫、増井伸裕、大弥保憲、若林尚貴、岩洋之、船木一祥(順不同)

議 事

1. 運営委員会報告。

- ・次年度の赤本に記載する内容は3月末までに決定するので、地方選手権における中部、近畿の統合に関しては、早くても再来年になってしまうとの事。
但し、確実に2006年から実施出来るよう、今の時点から準備を怠らないように。
- ・国際Cライセンスホルダの地方格式への参加制限の件は継続審議して頂いたが、JAF登録部会、JAFラリー専門部会でもOKの判断は出なかった。
- ・レース部会が1回/年実施しているレスキュー講習会は、今後、主催クラブを中心に参加を義務化する方向。
- ・交通費は4月、ラリーセミナーの活動費は5月の運営委員会で手渡される予定。

2. JMRC中部共通規則書の配布手段について。

- ・各クラブからの必要数申告制にしても、事務局の手間を考えると現実的ではないと思う。
- ・加盟クラブ20冊、準加盟クラブ10冊の現状どおりでよいと考えられる。
- ・JMRC中部のHPに各カテゴリー別に規則が載っているが、ばらばらなので分かりにくいのでは？
一冊分をまとめて共通規則のページを作ったらどうか？
- ・中部のHPに辿り着けない人もいると思うが
JAFスポーツ誌にある程度の頻度でURLを掲載してはどうか？(無料)
最近ネット環境もかなり整っており、友人等に頼めば簡単に手に入ると思うが。

3. 近畿地区との地方選手権統合について。

- ・JMRC近畿のラリー部会長より下記内容をご検討頂きたい旨、連絡有り。
 - (1)ターボシーリングについて。
 - (2)アンケートについて。
 - (3)表彰式について。
- (1)ターボシーリングについて。
 - ・近畿も今年から選手権を開催するにあたり、リストラクタの確認に関しては、JMRC九州と同様に事前封印のワイヤー、およびラリー部会長のサイン入り書類で確認するとの事。
 - ・近畿のエントラントが中部に参加する際には、上記ワイヤーと書類の持参にてOKにして頂きたいとの事。
 - ・中部の方式で事前検査をしても良いのでは？
きちんとルールを守っていれば問題ない。
 - ・逆に中部のエントラントが近畿のイベントに出る場合はどうなるのか？
 - ・近畿と同じく認証機構を中部ラリー部会内に設けてはどうか。その場合、東日本地区のエントラントはいなくなると思うが、残念ながら地区戦レベルの交流はさほど多くないので、あまり問題ではないかもしれない。
 - ・仮に近畿と同様の認証機構を中部で設けた場合、サイン入り書類の責任は誰が取るのか？
本来、車両に関する責任は各エントラントにあるはずだが。
封印の現物とサイン書類との整合性が本当に取れないのではないか？
ラリー直前になって送ってくる人が必ず出てくると考えられる。
 - ・北海道の場合は、孔のあいた鉛球にワイヤーを通し、特殊な刻印を持つプライヤーみたいなもので鉛球をかしめつける、という方法でラリー前の車検時に封印している。
そのような工具を新たに作るのか？

次項へ続く

- ・実際の封印作業は、おそらくどこかのショップでやることになると思うが、ボランティアというわけにはいかないのではないか。 お金が絡めば人間の性格も変わる。
- ・そもそも中部が内視鏡を使った検査を導入したのは、認証機構を設けるのが辛い、お金（利権）の問題が出る、また他地区からの参加を妨げないようにする為に決めた物だったはず。
- ・主催者としてもせっかく内視鏡の使い方が分かったところであるし、エントラント側としても規則面（？）がコロコロ変わるのはあまり良くないと思う。
- ・車検、再車検項目は主催者が独自に決めることができるので、ワイヤーと封印の有無にかかわらず、内視鏡で検査することはできる。
- ・現状、中部のエントラントが近畿の地区戦に出る場合は、近畿の認証機構へターボを送って封印してもらわなくてはならないだろう。 エントラントの費用負担が発生。
- ・簡単に決めずに、例えば近畿の部会・主催者と直接話し合う必要があると思う。
- ・継続審議必要。

(2) アンケートについて。

- ・近畿では、主催者や部会の意見も大事だが、エントラントの意見を尊重したいので、第1戦でエントラントにアンケートを実施するとの事。
- ・中部でもやったほうが良いと思う。第1戦ANDでやる方向。
内容については近畿のアンケート内容と合わせる必要あるだろう。
近畿のアンケート内容を教えてもらう。

(3) 表彰式について。

- ・表彰式をどこで、どのような形で実施するか？ラリーの入賞者だけ、中部、近畿両方の表彰式に参加するのか？
- ・場所的には鈴鹿が両方の中間なのでよいと思うが。
- ・鈴鹿の表彰式はJ M R C中部の表彰式で、それにJ A Fの表彰式がくっついてる格好？
J A Fからも表彰式費用が出ているから、そうとも言いきれないのでは？
- ・どちらかの表彰式にまとめるというのは、金銭的な面からも難しいのではないか。近畿が中部の表彰式にお金は出さないだろうし、その逆も難しいだろう。
両ラリー部会だけの話ではおさまらないかも？
- ・J M R C表彰式とJ A F表彰式を分ける必要がある？以前、ラリーの表彰式を北陸でやっていたような感覚か。
- ・継続審議必要。

(中部で追加) 車両規則について。

- ・近畿には無く、中部にある車両規定について中部として必須とするのか譲歩するのか決める必要がある。

(1) エアクリナーケース

- ・J A Fの車両規則がGr . N化へ流れている点からすると、標準品限定で良いと考える。
将来消滅する予定の規定（B規定）に合わせる理由はない。

(2) ランプポッド

- ・ラリーの途中での脱着は不可。ランプポッドをつけるなら、その状態で国の車検に通らなければならない。光軸も振動してはいけない。 法律上、微妙な車両。
- ・以上より、上記2点は中部としては従来どおり必須としたい。

(中部で追加) 合同開催の継続について。

- ・合同でやるのは構わないが、都合次第で簡単に分裂するようなことがあってはならない。そんなに都合よく分割・併合が許されるものではなく、そのようなことを繰り返せば信頼されなくなる。

この先長く合同開催を続けていくように、部会も主催者もエントラントも努力するべき。

何かしら、取り決めなどの『縛り』が必要？

次項へ続く

4. ラリーセミナーについて。

- ・第1回MASC：3/6(土)無事終了。報告書は別途HPに掲載済み。
- ・第2回R-8：4/17(土)。IMSC米山さんが主体で製作中。案内はHPに掲載済み。
現時点でまだ申込はないが、4～5組が参加する意思ある模様。

5. その他。

- ・マイルドラリー：4/24(土)～25(日)。基本的にいつもと同じだが、距離を30km程延ばし、180kmの予定。
オフィシャルのお手伝い(近場の方)、エントラント、募集しています。
事前講習会の講師がいないので、こちらも募集します。
次月峠の交差点角に道の駅ができたので、トイレが近くなりました。
- ・2003年JAF戦の表彰状、表彰式に來れなかった人5名の分を総務より預かったが、2名については連絡先などが部会でも不明。
基本的には総務へ返却。2名の連絡先を参加申込書から割り出すことは可能。

6. 次回ラリー部会。

2004年06月06日(日) 13:00～
小牧勤労センター 2F 中会議室

以上

JMRC 中部ラリー専門部会事務局長 船木 一祥